

災害派遣活動について

東日本大震災における 第一次災害派遣医療チームの派遣について

2011年3月11日（金）14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0の大地震を記録し、この地震により大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

労働者健康福祉機構では、機構本部に災害対策本部を設置し労災病院の医師等による医療救護班の派遣等の緊急的対応を行う

こととなり、中部労災病院においても去る4月6日～4月9日の期間で、宮城県仙台市若林区へ医療チーム5名（医師1名・看護師1名・薬剤師1名・作業療法士1名・事務員1名）を派遣し、区内の七郷小学校、七郷中学校等で医療救護活動を行いました。

次号フィリアレター28号で現地での活動報告をさせていただきます。



災害活動メンバー



津波襲来時刻で止まった時計

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。